

原木シイタケと菌床シイタケに対する消費者意識の比較研究

1060041 森田 考治 (生物資源経済学研究室)

1. はじめに

シイタケは栽培方法によって原木シイタケと菌床シイタケに分類されている。原木栽培の生シイタケの生産量は、農林水産省の調査の始まった1993年から年々減少しており、労力とコストのかかる原木栽培より、比較的労力がかからずコストの低い菌床栽培が主流となっている。2013年度の全国の生シイタケの生産量では、67,946トンのうち約9割が菌床栽培による生産となっている¹。このように、原木シイタケの栽培が衰退しているのは、菌床栽培への転換と原木シイタケに対する需要が減少していることが関係していると思われる。

そこで本研究では原木シイタケに対する消費者ニーズを把握し、今後原木シイタケの消費量を増加させていくために、どういった消費宣伝活動が必要かを探求することを目的としている。この目的のために本研究では、原木シイタケと、原木シイタケの代替財であり、原木シイタケの消費低迷に大きく関わっている菌床シイタケに対する消費者意識の比較を行う。これにより、原木シイタケと菌床シイタケに対する消費者意識の違いが把握できれば、原木シイタケを消費拡大のために宣伝していく際の基礎資料となると言える。

具体的には、以下の三点を中心に本研究は進められている。第一に、原木シイタケと菌床シイタケの認知度の違いについて分析している。第二に、原木シイタケと菌床シイタケの両方を認知している人は、それぞれのシイタケを購入する際に何を重視し、どういった違いがあるのかを見ていく。第三に、菌床シイタケとの比較研究から原木シイタケを普及させていくためには、どういった宣伝方法が有効かについて考察する。

2. 分析方法

原木シイタケと菌床シイタケの消費者意識を把握するための方法としては、石川県の住民を対象としたアンケート調査を実施した。アンケート調査は、2015年8月22日、23日に石川県金沢市で開催された「いしかわ環境フェア2015」で来客した人を対象に行った。本アンケートにおける有効回答数は、181通であった。

第一の認知度の違いの分析方法では、原木シイタケと菌床シイタケそれぞれについて知っているかどうかに関するアンケートの結果を比較した。第二の原木シイタケと菌床シイタケの購入時に重視する項目の違いを見る方法としては、アンケートで原木シイタケと菌床シイタケの両方を知っていると答えた人の中で、それぞれのシイタケを購入する際に重視する内容の比較を行った。この比較では、重視する内容に関する価格、生産地、生産者、形のよさ、大きさ、清潔さ、味の七項目のアンケートの回答結果を用いた。第三の宣伝方法を考えるための方法では、主に第二の分析結果から原木シイタケの宣伝に有効であると思われる部分を推測した。

¹ 農林水産省 (2015) 「平成 25 年主要品目別生産動向」

<http://www.e-stat.gov.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001129283> (2016/2/1 最終アクセス)

3. 分析結果

第一の認知度の違いに関する調査では、菌床シイタケで回答者の62%が「知っていた」と答えていたのに対し、原木シイタケについては回答者の67%が「知っていた」と答えていた。この結果から本研究で行ったアンケートでは、原木シイタケの方が、認知度が高い傾向が見られた。このような結果になった原因としては、石川県では原木シイタケのブランドである「のとてまり」に関するニュースなど、原木シイタケに関する情報が普及していることが影響しているのではないかと考えられる。

第二の購入時に重視する項目の調査結果は、表1の示す通りである。菌床シイタケと原木シイタケのいずれにおいても重要度が高かったのは、価格、生産地、形のよさ、大きさ、清潔さ、味であった。特に清潔さと味に関する重要度は高い傾向にあることが見て取れる。大きさと形のよさについては、菌床シイタケの方でより重視される結果となった。これは、菌床栽培は主に施設栽培のため、一般に形が良いことが追求されるのに対し、原木栽培は自然環境を利用する栽培方法のため良い外観に限界があることが影響していると考えられる。一方、価格、生産地、生産者、清潔さ、味では原木シイタケの方でより重視されていることがわかった。これは、原木栽培では、栽培する自然環境に左右されるため、産地や生産者、清潔さが重視され、また生産費用が高くなるため、価格に見合った味かどうか重視されていることが関係していると考えられる。

第三に、以上の結果から、原木シイタケの表示や宣伝には、菌床シイタケと比べて価格や生産地、生産者、清潔さ、味の面での違いをアピールしていくことが重要であるということが推測できる。

4. 結論

アンケートから石川県では原木シイタケがすでに十分認知されているため、店頭で陳列する頻度を増やしていくことが望ましいと考えられる。また、原木シイタケは菌床シイタケと比べて見た目は重要ではないが、生産地や生産者、清潔さ、価格といった部分が重視されていることが明らかとなった。この結果から、生産者の顔が見える販売方法や、高品質に見合った価格であるといったことを宣伝していくことが消費拡大には有効なのではないかと考えられる。

表1 消費者が生シイタケ購入時に重視している項目に関する調査結果

		かなり低い	低い	わからない	高い	かなり高い	無回答	サンプル数(人)
価格	菌床	8%	17%	17%	42%	11%	5%	64
	原木	9%	4%	23%	40%	21%	2%	47
生産地	菌床	8%	8%	30%	34%	14%	6%	64
	原木	4%	6%	28%	38%	17%	6%	47
生産者	菌床	13%	19%	44%	11%	8%	6%	64
	原木	6%	19%	47%	15%	6%	6%	47
形のよさ	菌床	13%	16%	13%	41%	14%	5%	64
	原木	15%	19%	13%	36%	15%	2%	47
大きさ	菌床	8%	11%	11%	47%	17%	6%	64
	原木	9%	13%	15%	43%	17%	4%	47
清潔さ	菌床	3%	8%	13%	50%	20%	6%	64
	原木	2%	6%	15%	47%	26%	4%	47
味	菌床	2%	5%	22%	45%	22%	5%	64
	原木	0%	0%	19%	47%	28%	6%	47